

## プロセス技術編 第4回 表面改質 (第41回技術セミナー) (平成26年12月2日開催)

表面改質とは、素材の耐久性向上や新機能付与のために、材料の表面を基材と異なる物質でコーティングしたり、異なる状態にすることで、表面処理とも称します。右図は陽極酸化と温水処理を施したインプラント用Ti合金を人工体液に浸漬する前(a)と後(b)の写真です。表面処理を施すことで球状組織を確認でき、分析の結果(c)、骨の成分であるアパタイトであることが判り、Ti合金に骨伝導性を付与することができました。

